

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名 鳥取県

学校の概要(平成15年4月現在)

岸本町立岸本小学校									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	22
児童数	56	55	65	52	52	65	3	348	

研究の概要

1. 研究主題

豊かな心と確かな学力を身につけ、生き生きと活動する子どもを求めて
 「個を生かす」指導方法・指導体制の工夫改善

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・全学年・算数

算数科における個人差が大きいので、個に応じた指導が必要と感じたから。
 また、近年行った算数診断テストの結果、県平均を下回る学年があり、算数科の基礎基本の定着を図る必要があるから。

(2) 年次ごとの計画

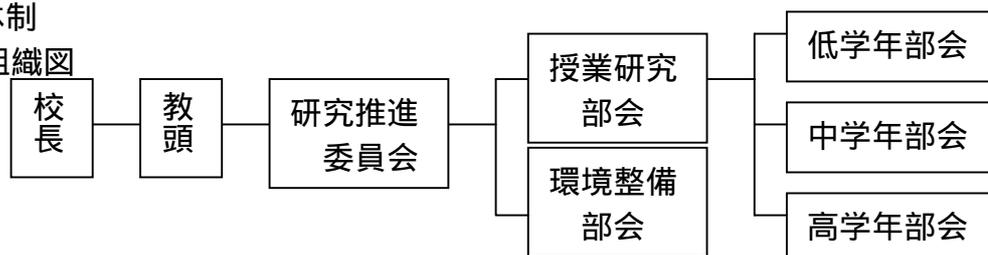
平成14年度	<p>テーマ</p> <p>豊かな心と確かな学力を身につけ、生き生きと活動する子どもを求めて 「個を生かす」指導方法・指導体制の工夫改善</p> <p>研究の見通し(仮説)</p> <p>子ども達が豊かな人間性を身につけたならば、自らの個性を生かし、自ら考え行動する子どもになり、生き生きと活動するであろう。</p> <p>基本的な生活習慣を身につけ、基礎的な読み・書き・計算の力がついたならば、落ち着いて学習に取り組み、生き生きと活動する子どもになるであろう。</p> <p>T・Tや少人数指導の長所を生かしながら、問題解決学習における教師の支援の在り方を工夫したならば、子ども達は意欲的に学習に取り組み、自力解決する力が備わり、確かな学力が身につくであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて学習に取り組める土台作り ・算数科を中心にT・Tや少人数指導による効果的な指導方法の研究 ・評価の工夫改善と諸検査等の活用 ・町内の小・中学校、地域との連携

平成15年度	<p>テーマ 豊かな心と確かな学力を身につけ、生き生きと活動する子どもを求めて ——「個を生かす」指導方法・指導体制の工夫改善——</p> <p>研究の見通し（仮説） 子ども達が豊かな人間性を身につけたならば、自らの個性を生かし、自ら考え行動する子どもになり、生き生きと活動するであろう。 基本的な生活習慣を身につけ、基礎的な読み・書き・計算の力がついたならば、落ち着いて学習に取り組み、生き生きと活動する子どもになるであろう。 T・Tや少人数指導の長所を生かしながら、問題解決学習における教師の支援の在り方を工夫したならば、子ども達は意欲的に学習に取り組み、自力解決する力が備わり、確かな学力が身につくであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語環境の整備やコミュニケーション能力を高めるための研究 ・算数科において、T・Tや少人数指導による効果的な指導方法の研究 ・評価規準ならびに評価基準を活用した指導と評価の一体化の実践 ・中学校との連携（各教科の教員交流を通しての指導力の向上）
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成16年度	<p>テーマ 豊かな心と確かな学力を身につけ、生き生きと活動する子どもを求めて ——「個を生かす」指導方法・指導体制の工夫改善——</p> <p>研究の見通し（仮説） 子ども達が豊かな人間性を身につけたならば、自らの個性を生かし、自ら考え行動する子どもになり、生き生きと活動するであろう。 基本的な生活習慣を身につけ、基礎的な読み・書き・計算の力がついたならば、落ち着いて学習に取り組み、生き生きと活動する子どもになるであろう。 T・Tや少人数指導の長所を生かしながら、問題解決学習における教師の支援の在り方を工夫したならば、子ども達は意欲的に学習に取り組み、自力解決する力が備わり、確かな学力が身につくであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語環境の整備やコミュニケーション能力を高めるための研究 ・算数科において、T・Tや少人数指導における個を伸ばす指導方法の研究 ・指導と評価の一体化を通しての個に応じた指導の実践 ・中学校との連携（各教科の教員交流を通しての指導力の向上）
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 研究推進体制

・実践研究組織図



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1 研究成果

教頭，教務，加配教員3名（指導方法工夫改善加配2人，児童生徒支援加配1人）の計5名で全学年での算数科におけるTT・少人数指導を行っている。指導形態は，1，2年は1学級2人体制のTTを，3～6年は1学年4人体制の習熟度に応じた少人数指導を行っている。

3年生以上では，児童の希望や事前テストによりグループ編制を行っている。昨年度の反省から少人数の分け方を明確に提示することで，児童の選択がよりできやすいようになってきた。単元ごとにグループ編制を替えることができるので，苦手とする領域では復習を交えながら学習を進めていくグループを選択する児童もあり，主体的に学習に取り組もうとする姿勢が見られた。児童のアンケートによると，「少人数指導による学習形態がよい学習方法」と感じる児童が90%を超えている。「自分のペースで勉強できる」，「発表や質問がしやすい」ことが主な理由である。

昨年度は1学級2グループ編制であったが，「自分のペースにあったグループ」を見つけにくい児童があった。そこで本年度は1学年（2学級）4グループ編制に変更しきめ細やかなグループ分けを行った。アンケート結果を見ると，80%の児童が「昨年度の2グループ編制より，4グループ編制の方がよい」と答え，70%の児童が「自分のペースのあったグループを見つけやすい」と好評であった。

グループごとに児童の実態が違うので，そのグループに応じた指導方法を工夫することで苦手になっている児童でも分かる喜びを感じることができ，学習意欲の高まりが出てきている。

公開学習を全教員が行うことで算数科における問題解決学習の共通理解が図れ，日々の授業における授業改善がなされてきている。

2 今後の課題

1学年を3～4のグループに分けることにより習熟の程度に応じた指導がより行いやすくなってきたが，それぞれのグループでも個人差があるので，それに応じた支援の在り方についても考えながら指導することが必要であることが分かった。

学習の練り上げ場面での話し合い活動がなかなか深まりにくかったので，指導方法の工夫をして，学習内容をより確かなものにする練り上げの方法を考えていきたい。

信頼できる絶対評価の在り方について考え，習熟の程度に応じたそれぞれのグループでの支援の在り方や評価規準の活用法などの研究を深めていきたい。

また，指導者同士の打ち合わせる時間が持ちにくいので，放課後の時間の有効的な活用を行っていきたい。

学力把握のための学校としての取組

CRT（観点別到達度学力検査）・・・年1回5月：3年（国，算），
4～6年（国，算，社，理）
算数・国語診断テスト・・・年1回1，2月：全学年
児童アンケート・・・年2回7月，12月：全学年

フロンティアスクールとしての研究成果の普及について

・研究会、説明会等の開催実績

基礎学力調査の結果のまとめ説明会（場所：岸本小学校，対象：対象学年保護者）

日時：10月22日（水）

内容：基礎学力調査の結果のまとめについての説明

学習の定着状況，学習に対する意識，学習習慣について

平成15年度 算数授業研究会（場所：岸本小学校，対象：郡内小学校）

月日	学年 単元	協議題
6 / 18	6年 立体	算数的な活動の明確化について 問題解決的な学習について
7 / 7	4年 小数	各グループごとの指導方法の違いについて 指導と評価の一体化について
9 / 17	2年 ちがいをみて	T Tの役割分担について 算数的活動における支援の在り方について
10 / 8	5年 小数のかけ算とわり算（2）	コースによる課題提示の工夫について コースによる自力解決・練り合いの場面の工夫について
11 / 20	1年 ひきざん（2）	T Tの効果的な指導法について 算数的活動の在り方について
12 / 5	3年 表とグラフ	自力解決における支援の在り方について 少人数指導における効果的な指導の在り方について

・研究会、説明会等の開催予定・・・平成16年度の予定は，未定である。

・HP作成等の工夫の実績及び今後の予定

HP作成等は現在行っていない。また，今後の予定は，未定である。

次の項目ごとに，該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新設校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
- 13～18学級 19～24学級
- 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
- 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
- 生活 音楽 図画工作 家庭
- 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無